# 告発の理由と事実のまとめ

## 殺人未遂の事実と法的評価

### 供述調書の証拠資料

≫≫≫ Macbook-Air Word 2023/11/05 14:52:14 ≫≫≫

* 014\_甲号証（二）　平成04年04月02日付　供述調書　安藤紀世　金沢西警察署　司法警察員巡査　川原照夫　16頁
* 015\_甲号証（二）　平成04年04月02日付　供述調書　被告発人松平日出男　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　19頁
* 017\_甲号証（二）　平成04年04月08日付　供述調書　被告発人安田敏　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　27頁
* 018\_甲号証（二）　平成04年04月10日付　供述調書　安藤紀世　金沢地方検察庁　検察事務官　天山孝志　14頁
* 019\_甲号証（二）　平成04年04月10日付　供述調書　被告発人池田宏美　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　24頁
* 020\_甲号証（二）　平成04年04月11日付　供述調書　被告発人多田敏明　金沢西警察署　司法警察員巡査　村元康夫　24頁
* 021\_甲号証（二）　平成04年04月12日付　供述調書　告発人浜口卓也　金沢西警察署　司法警察員巡査　村元康夫　19頁
* 022\_甲号証（二）　平成04年04月13日付　供述調書　レストラン店長　金沢西警察署　司法警察員巡査　川原照夫　10頁
* 023\_甲号証（二）　平成04年04月13日付　供述調書　被告発人松平日出男　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　12頁
* 025\_甲号証（二）　平成04年04月18日付　供述調書　北野○○　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　31頁
* 026\_甲号証（二）　平成04年04月20日付　供述調書　被告発人安田繁克　金沢西警察署　司法警察員巡査　川原照夫　18頁
* 027\_甲号証（二）　平成04年04月24日付　供述調書　被告発人梅野博之　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　46頁
* 090\_甲第五八号証　平成04年04月10日付　供述調書　安藤紀世　金沢地方検察庁　検察事務官　天山孝志　14頁
* 091\_甲第六〇号証　平成04年04月02日付　供述調書　被告発人松平日出男　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　19頁
* 093\_甲第六四号証　平成04年04月08日付　供述調書　被告発人安田敏　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　27頁
* 094\_甲第五九号証　平成04年04月10日付　供述調書　安藤紀世　金沢地方検察庁　検察事務官　天山孝志　14頁
* 095\_甲第六三号証　平成04年04月10日付　供述調書　被告発人池田宏美　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　24頁
* 096\_甲第六五号証　平成04年04月11日付　供述調書　被告発人多田敏明　金沢西警察署　司法警察員巡査　村元康夫　24頁
* 097\_甲第六六号証　平成04年04月12日付　供述調書　告発人浜口卓也　金沢西警察署　司法警察員巡査　村元康夫　19頁
* 098\_甲第六九号証　平成04年04月13日付　供述調書　レストラン店長　金沢西警察署　司法警察員巡査　川原照夫　10頁
* 099\_甲第六一号証　平成04年04月13日付　供述調書　被告発人松平日出男　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　12頁
* 101\_甲第六八号証　平成04年04月18日付　供述調書　北野○○　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　31頁
* 102\_甲第六七号証　平成04年04月20日付　供述調書　被告発人安田繁克　金沢西警察署　司法警察員巡査　川原照夫　18頁
* 103\_甲第六二号証　平成04年04月24日付　供述調書　被告発人梅野博之　金沢西警察署　司法警察員巡査　橋本登志彦　46頁
* 122\_甲第五九号証　平成04年04月10日付　供述調書　安藤紀世　金沢地方検察庁　検察事務官　天山孝志　14頁

　上記が主に市場急配センター関係者の証拠資料となる供述調書の一覧です。

≪≪≪ Macbook-Air Word 2023/11/05 15:03:34 ≪≪≪

### 被害者安藤文さんを追い詰めた会社上司や同僚としての言動

≫≫≫ Macbook-Air Word 2023/11/05 15:03:56 ≫≫≫

　供述調書の証拠資料には、被告発人松平日出男、被告発人梅野博之、被告発人池田宏美、被告発人浜口卓也、被告発人安田敏、被告発人安田繁克、被告発人多田敏明の供述調書があり、細かい点で多少の違いはあるかもしれませんが、被害者安藤文さんが告発人廣野秀樹との交際を嫌がって断り、告発人廣野秀樹が執拗に被害者安藤文さんに交際を求めていた旨の供述があります。

　告発人廣野秀樹の控訴審での控訴趣意書等の書面をみると、証言という言葉が使われていて一審の証人尋問で証言があったように誤解を招きかねませんが、証人尋問があったのは母親の廣野己代子だけです。また、本書の本文中にも記載があると思いますが、平成5年12月の初め、上告審になった段階で初めて、この関係者の供述調書の内容を読みました。事件発生の平成4年4月1日からは1年半ほど経過していて、すでに記憶の方も薄れていたと思いますが、30年以上経った現在でも、この供述調書の内容は簡潔で表面的なものとなっています。

　今回の告発状の作成を始めてから関係者の供述調書の内容は読み返しをしておらず、細かい点には触れないことにしました。明日の2023年11月6日にこの告発状を金沢地方検察庁に提出して、その後は石川県警察に告発人廣野秀樹を被害者とした告訴状を提出する方向で考えています。警察官との詰めた話し合いで今後の対応は決めていく予定ですが、なるべく多くの資料を分析、検討してわかりやすくまとまった資料を新たに作成したいと考えています。

　最近になって告発人廣野秀樹作成の平成4年の控訴趣意書と控訴趣意補充書、それと平成5年4月22日付の上申書に目を通していますが、今回はこの3つの書面を補充するかたちで事実関係を述べたいと思います。

　金沢西警察署に逮捕されてから何一つ事実を確認することができない状態で臨んだ控訴審で、被告発人木梨松嗣弁護士に強引に精神鑑定を受けさせられたということもありますが、精神的に不安な状態が続いていました。中途半端にはあえて踏み込まない判断もあったのですが、被害者安藤文さんの裏駐車場の行動の説明も同時に始まった自宅での電話対応の拒否も事前の予想以上に説明が足りないと感じました。

　被害者安藤文さん本人でないとわからないこともあり、自身が体験した事実からの推測になりますが、市場急配センターの被告発人らの供述調書の内容は、事前の推測の正しさを裏付け確認するものとなっていました。

　被害者安藤文さんが告発人廣野秀樹に好意を抱き交際を意識するようになったのは、少なくとも被告発人松平日出男と被告発人池田宏美の働きかけや影響が大きかったと思います。そもそも金沢市場輸送から市場急配センターに移ったことで被害者安藤文さんの関係が始まったのですが、この職場の移転自体が計画的に仕組まれていた可能性が高く、とりわけ重要な役割を果たしたのが被告発人安田敏になります。

　平成4年の江村正之検察官の冒頭陳述も最近になって読み直しをしましたが、事件前に何度も食事に誘い、繰り返し交際を求めていたという指摘がありました。検察官検事として犯罪的な手抜き仕事にも思え、今回、その前日辺りに読み直していた答弁書の松浦由記夫検事とともに被告発人に加えることを検討し、その旨、金沢弁護士会の事務局長と金沢地方検察庁の担当者にお話ししてあります。他の事件の対応中とのことで、金沢弁護士会に掛けて話すのがさきになりました。

　金沢弁護士会の立場としても検察官の責任の所在は軽視できないものがあると考えましたが、事件を送致した石川県警察の立場としても同じような問題があると考え、石川県警察の警察官と話し合いをした上で、被告発人や被告訴人に追加することを再検討することにしました。

　すべてではないですが、告発人廣野秀樹の供述調書の作成は金沢西警察署で谷内孝志警部補が行いました。この乙号供述調書は、さらに読んでから時間が経過していて、内容も余り思い出せないのですが、記載があるのか確認しておきたい事実がいくつかあります。

　平成3年11月25日（特に断りのない限り、5月から12月は平成3年、1月から3月は平成4年）の電話もその1つです。被害者安藤文さんは告発人廣野秀樹から自宅に電話が掛かることを十分に予想し期待をしていた様子に思えましたが、電話で会話が始まってすぐに、結婚願望の話を始めました。告発人廣野秀樹に結婚したときの年齢を尋ね、その上で「わたし、早く結婚したいぞいね。今まだいいけど、あと2，3年したらあせるぞいね」と言いました。

　証拠資料の業務日報に11月29日で加賀インター5050円という領収書があります。これは名神高速の関ヶ原インターから乗ったときの領収書になるかと思いますが、伊吹パーキングエリアからの電話がありました。翌日の30日土曜日から始まったのが被害者安藤文さんの裏駐車場での行動ですが、最初は事務所からは一番奥に被告発人池田宏美の車と2台並べて駐車していました。他にも普段駐車をしていない市内配達の運転手の車が駐車されていたのですが、金沢中央卸売市場の裏門の道路が工事中なので移動させられたという話でした。この工事が実際にあったのか記憶になく、当時は気に掛けることもなかったのですが、その日一日限りのことでした。

　その後は、被害者安藤文さんの車だけが裏駐車場に駐車されるようになりました。運転手はもともと裏駐車場に乗用車を駐車していましたが、被害者安藤文さんは事務員でもともと事務所前に自分の車の駐車をしていました。事務所前の道路から裏駐車場に入ると右手に乗用車と2トントラックを駐車させ、金沢中央卸売市場側になる左手は大型車と4トン車が駐車されていました。

　大型車は駐車スペースを確保するため斜めに駐車していましたが、被害者安藤文さんはそこにも自分の車を駐車することがありました。実際に同じような場所に自分の車を短時間、駐車したことがあったのですが、被告発人浜口卓也に邪魔だと叱られたことがありました。大型車の出入りに邪魔になっていたことは確かです。

　最近になって気がついたのですが、控訴審の手書きの書面に3月23日の夜の電話は、20時頃から22時半頃まで続いたような記載がありました。手書きの文字の読みにくさもあり、細かい時間はよく憶えていないのですが、2時間は電話で話を続けたようでした。そんなに長く話をしていたという記憶はなくなったいましたが、「そんでいいやろ」と被害者安藤文さんに何度も確認をしながら彼女が答えず、母親の「いつまで話しとるが」という声が聞こえたことで、すぐに電話を終えました。

　この3月23日の電話の最初で被害者安藤文さんは、「好きな人がいる」といい「好きな人おるって、つきあっとるのと同じころやろ」と不満をぶつけるように話していました。

　10月5日の電話が最初だったのか現在思い出せないですが、「好きな人がいる」という言葉で被害者安藤文さんは交際を断っていました。「ごめんなさい」が先にあったとも思います。明るい声での「ごめんなさい」でしたが、11月25日の電話では、交際の申し込みをしないで、次に自宅に電話を掛けることの了承だけをもらっています。たぶん11月の前半になると思いますが、その前回の電話が交際の申し込みの最後になります。

　食事に誘ったのも1月中の1回だけで、日野自動車の工場の横にある公衆電話でした。「行けるけど今日は行けん」がその時の被害者安藤文さんの答えです。

　10月5日に最初の交際の申し込みを行い「ごめんなさい」と断られたことははっきりしていますが、この態度が3月23日まで続き、告発人廣野秀樹が被害者安藤文さんのいう好きな人や彼氏を自分のことを考えたことは、他の裁判の記録にもあり、それを被告発人木梨松嗣弁護士は被害妄想としているわけですが、裁判の資料以外に確認した形跡は皆無でした。

　3月23日の電話は、3月5日と3月19日に被害者安藤文さんが会社に、それぞれ別の形状の指輪を中指と薬指の別の指につけてきたことが大きいのですが、これも最近になって過去の書面から3月18日の夕方、被害者安藤文さんは告発人廣野秀樹の電話に出なかったということを確認しました。他にもよくあったことですが、被告発人梅野博之と被告発人池田宏美の二人が代わる代わる電話に出て、被害者安藤文さんを出そうとはしなかったのです。

　3月19日は五高倉庫で静岡県清水市行きのミールを積み置きしましたが、3月20日に清水市で荷下ろしをしてから茨城県古河市に向かいました。その前に会社に電話で指示を受けた記憶はないので、3月19日の時点で決まっていた可能性が考えられるのですが、東名高速道路に乗って東京方面に走りました。

- （6／150／669647）：ツイート （@kk\_hirono） 2014-01-10 22：28：28

> 東名高速で神奈川県内に入ったパーキングエリア（レストランもガソリンスタンドもない）から会社に掛けた電話で、彼女を罵倒し、彼女はすごいショックを受けた様子でそのまま電話に出なくなった。かわって電話に出たのが被告訴人MHK社長。

ツイートのURL： https：//twitter.com/kk\_hirono/status/421634757630259202

- 奉納＼危険生物・弁護士脳汚染除去装置＼金沢地方検察庁御中\_2020： H3DB\_search\_”パーキング”\_（該当件数：150/データベース登録数：669,647) \_2023-11-05\_165146の記録 <https://kk2020-09.blogspot.com/2023/11/h3dbsearch150669647-2023-11-05165146.html>

　パーキングエリアの名称が思い出せず、ページ内検索で見つけるためにまとめ記事を作成したのですが、「東名」をキーワードにした検索ではパーキングエリアの名称が見つかりませんでした。

- 東名高速道路(神奈川県）の高速道路ＩＣ／ＳＡ・ＰＡ／ホームメイト <https://www.homemate-research-ic.com/14/h023/>

　ピンとくることは不思議となかったのですが、中井パーキングエリアになりそうです。まとめ記事で「中井」のページ内検索をしましたが該当はありませんでした。

- 奉納＼危険生物・弁護士脳汚染除去装置＼金沢地方検察庁御中\_2020： H3DB\_search\_”中井”\_（該当件数：171/データベース登録数：669,647) \_2023-11-05\_170010の記録 <https://kk2020-09.blogspot.com/2023/11/h3dbsearch171669647-2023-11-05170010.html>

　「中井」をキーワードにしたまとめ記事を作成しましたが、「東名」「パーキング」「電話」といずれもページ内検索の該当はありませんでした。

中井パーキングエリア - Google マップ <https://www.google.co.jp/maps/search/%E4%B8%AD%E4%BA%95%E3%83%91%E3%83%BC%E3%82%AD%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%A8%E3%83%AA%E3%82%A2/@35.3014109,139.0727526,11.3z?entry=ttu>

　検索で確認しましたが場所に間違いはなさそうです。これまでに何度かGoogleマップで調べているのですが、今回は意外に小田原市に近いことに気がつきました。

　この3月21日の中井パーキングエリアからの電話で、月曜日の3月23日に被告発人松平日出男と被害者安藤文さんのことで話をすることが決まったのです。

　その3月23日ですが、最近に読んだ過去の書面で、喫茶店で被告発人松平日出男と被害者安藤文さんと3人で話をしたあとに、会社の二階事務所で被告発人池田宏美に被害者安藤文さんのことできつい注意を受けたいたことを発見しました。それらしいことを被告発人池田宏美にいわれたことは、いくらか記憶に残っていたのですが、3月23日というのが意外でした。

　そのときの被告発人池田宏美も非常に険しい態度で圧迫感を醸し出していましたが、4月1日の夕方も同じでした。3月23日のときは被告発人池田宏美一人だったと思います。たぶん喫茶店から直接会社に戻ったと思いますが、被告発人松平日出男の姿はなく、被害者安藤文さんは金沢市場輸送に行ったものと考えられます。

　データ入力の仕事で金沢市場輸送に行っていた被害者安藤文さんですが、2月に入ってからになるのか変化があり、午後が多くなり、3月になると告発人廣野秀樹が仕事に出るような時間に合わせて、金沢市場輸送に出掛けるような行動も目立つようになっていました。ほとんどの場合、午後に荷物を積むのに出掛け、多いのが七尾市でした。また、裏駐車場の被害者安藤文さんの行動は2月1日に終わっています。ミールを24トン積んで福岡に出発した日ですが、会社前に車の駐車がありました。

　これも市場急配センターの被告発人らが協力を装って被害者安藤文さんに恩義を感じさせ、心理的負担を掛けていた事実になります。

　3月24日から3月30日までの間は、現在よく思い出せないこともあるのですが、4月1日の仕事が終わった後に会うことは3月30日に茨城県古河市から掛けた電話で決まっていました。日付を決めたのはこのときですが、会うことはその数日前の電話で決まっていて、被害者安藤文さんはいくらかふてくされたような態度で、告発人廣野秀樹の問いかけに、すべて「はい」と手短に答えていました。

≪≪≪ Macbook-Air Word 2023/11/05 17:27:59 ≪≪≪

### 事実上、心中の一歩手前となった平成4年4月1日の傷害・準強姦被告事件

≫≫≫ Macbook-Air Word 2023/11/05 20:00:40 ≫≫≫

　表題部の「告発の趣旨」を編集しました。余り時間を掛けて考えてはいないのですが、コピペで修正前よりは具体性が高まったと思います。傷害・準強姦被告事件の原因を作ったのはすべて市場急配センターの被告発人らの計画的関与であり、被害者安藤文さんが自分の置かれた立場、状況を理解できず告発人廣野秀樹による過激な暴行を受けて瀕死の状態となり、少なくとも2ヶ月間は意識不明の状態が続き、植物人間となる蓋然性が高まる状況となりました。

　傷害・準強姦被告事件において準強姦とされた行為の直後に、告発人廣野秀樹は「一緒に死ぬか？」と被害者安藤文さんに呼びかけています。このときばかりは力強い声で「いや」と答えたことと、そのすぐあとに金沢西警察署に告発人廣野秀樹が金沢西警察署に自首出頭し病院へ救急搬送した直後に被害者安藤文さんが意識を失ったものの、出頭前に意識を失い応答がなくなっていれば、告発人廣野秀樹が無理心中をした蓋然性が高く、心中未遂となる同種事案での殺人事件はこれまでのネットのニュース記事などで見かけたことがあります。

　これまでに御庁（金沢地方検察庁）には同じ事実の指摘で平成4年かあるいは平成5年以降、数えられないほどの刑事告発・告訴を繰り返しています。そのすべては犯罪事実が認定できないという返戻と数は少ないですが不起訴処分でした。

　今回の刑事告発も事実の摘示としては不十分な点があるかもしれないですが、電話で繰り返し担当者にお話、お伝えしている通り、時間は無制限、録音録画のぶっ通しでいかなる質問にも答えて口頭での説明を記録する用意があります。

　インターネットでの情報公開も行ってきましたが、金沢弁護士会への家宅捜索の必要性も大きな問題と考えているので、この度の告発状の作成では、これまでにやっていたような段階的な告発状の記載内容の情報公開をやっていません。

　しっかり確認はしていないところ、金沢西警察署の作成した被疑者、乙号供述調書に記載がなかったかもしれない重要事実で、告発人廣野秀樹は事件当日、レストラン十字の店内において、「もう帰ろう」と被害者安藤文さんに話しかけながら席から立ち上がっています。被害者安藤文さんはそれに応じず席に座ったまま「わたし、広野さんに土下座せんなんかもしれん」と言い出したことが急転直下で傷害・準強姦被告事件に発展しました。

　現在記憶にあるだけでも詳細な事実関係がそこに至る経緯にあります。現在告発人廣野秀樹が重視しているのは御庁（金沢地方検察庁）や石川県警察の理解より、日本弁護士連合会就中、再審法改正を強く推進・広報している小林元治日本弁護士連合会会長の今後の対応です。

　金沢弁護士会については電話連絡で何度もやりとりをしていますが、今回の告発状についても金沢弁護士会役員の幇助犯としての関与と刑事責任を前提に告発状を作成する旨、事務局長に伝えてあります。これは10月23日の電話だったように思います。その事務局長は現段階での判断ということを繰り返し強調していましたが、金沢地方検察庁の告発受理の判断とは全くの別物で、金沢弁護士会の責任と対応を問題にし、判断に必要な事実の確認・事情説明については、これも23日間の連続ぶっ通しを前提にいかなる質問にもその場で即答し、録音あるいは録音録画の記録作成を強く求めました。これは金沢地方検察庁の担当者にも電話で説明し、異議がないことを確認し、その旨も金沢弁護士会の事務局長に電話で伝えてあります。

　「もう帰ろう」と被害者安藤文さんに言ったとき、次の運行が終わったあとに、被害者安藤文さんの自宅に電話を掛け、強制的に関係を終了させるつもりで、その考えは3月23日の電話でのやりとりから被害者安藤文さんに伝わり、戸惑いながらのその場の対応となったものと思われます。

　30年以上が経過して当時の記憶は確実に薄れ、ぼやけています。曖昧な記憶のまま告発の事実・告訴の事実を記載することはまったく不十分があると判断しました。事件の情報量が多すぎてお伝えしきれないこと、的を絞って整理しないことには効率的な今後の捜査が望めないことも先日、御庁の担当者にお伝えしたかと思います。袴田事件の再審公判に注目していること、弁護士やジャーナリストの江川紹子氏の3月の再審開始認容決定、検察の特別抗告を巡る検察や警察を凄まじく愚弄し批判するインターネット上の反応と、10月27日の再審初公判における検察側の冒頭陳述に対する反応の乏しさが、はるかに予想を超えた自体であることも直接担当者にお伝えしてあり、別に真犯人がいる可能性がインターネット上にあったことで、冤罪の可能性が高いと考えていたことは、金沢地方検察庁の担当者だけではなく金沢弁護士会の事務局長にもお話をしています。

　金沢弁護士会の電話には「職員の研鑽と対応の向上のため録画しています」あるいは「されていただいています」というガイダンスが最初に流れています。こえをそのまま金沢地方検察庁職員や石川県警察の警察官の研鑽と対応の向上のためとも考えてたのですが、ありのままの経緯を記録し証拠化するため、金沢弁護士会による録画音声の任意提出とそれに応じない場合のガサ入れ（強制捜査）を金沢地方検察庁の担当者に回答はいらないという前提でお伝えしました。

　時刻は21時00分になりました。このあとAコープ能都店で半額になっていたハンバーグ弁当と牡蠣フライ、前日に買っていたサラダの残りを食べる予定です。無事にいけば明日のこの時間には、北陸鉄道株式会社の珠洲宇出津特急線で往復し、この告発状を御庁（金沢地方検察庁）、その写しを金沢弁護士会、金沢地方裁判所刑事部に提出した上で同じこの部屋に戻っていることになります。

　新しい金沢弁護士会の建物に入るのも初めてのことになりますが、今後の対応に参考になることがあるものと期待しています。前回の告発状の証拠法としてご紹介していると思いますが、次のnoteのアカウントをメインに今後の刑事告発・告訴事件の情報公開と情報発信を行っていく所存です。また、金沢弁護士会にも電話でお伝えしていますが、しばらく当分の間、情報公開・情報発信用として3つあるX（旧Twitter）アカウントの1つを金沢弁護士会への連絡用として運用しています。

- 再審請求と刑事告発の証拠方法公開サイト＼金沢地方検察庁御中｜note <https://note.com/hirono2020kk/>

- 刑事告発告訴・再審請求／金沢弁護士会御中（@s\_hirono）さんの返信があるポスト / X <https://twitter.com/s_hirono/with_replies>

≪≪≪ Macbook-Air Word 2023/11/05 21:12:33 ≪≪≪